

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成26年11月27日(2014.11.27)

【公開番号】特開2013-128629(P2013-128629A)

【公開日】平成25年7月4日(2013.7.4)

【年通号数】公開・登録公報2013-035

【出願番号】特願2011-279396(P2011-279396)

【国際特許分類】

A 6 2 C 35/68 (2006.01)

A 6 2 C 31/02 (2006.01)

B 0 5 B 1/18 (2006.01)

【F I】

A 6 2 C 35/68

A 6 2 C 31/02

B 0 5 B 1/18

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月8日(2014.10.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

流水口を有する本体と、

本体に設置された椀状のデフレクターと、

デフレクターには多数の散水孔が環状に並設され、環状に並設された散水孔が上下複数の段に穿設されており、

デフレクター内部の上段散水孔と下段散水孔の間には穴を有する流量調整板が設置され、最上段の散水孔の上端に鍔部を設置したことを特徴とする放水型ヘッド。

【請求項2】

デフレクターの散水孔が穿設された側面から鍔部の外縁部までの距離は、散水孔の幅以上とした請求項1記載の放水型ヘッド。

【請求項3】

散水孔から鍔部の外縁部に向けて鍔部を上方に傾斜させた請求項1または請求項2記載の放水型ヘッド。

【請求項4】

散水孔が穿設されたデフレクターの側面と、散水孔の上部に形成された鍔部との境界部分がアール形状または傾斜形状である請求項1～請求項3の何れか1項記載の放水型ヘッド。

【請求項5】

鍔部に散水孔から鍔部の外縁に向かう溝を刻設した請求項1～請求項4の何れか1項記載の放水型ヘッド。

【請求項6】

流水口を有する本体と、

本体に設置された椀状のデフレクターと、

デフレクターには多数の散水孔が環状に並設され、環状に並設された散水孔が上下複数の段に穿設されており、

デフレクター内部の上段散水孔と下段散水孔の間には穴を有する流量調整板が設置され、最上段の散水孔の上端には流水口の放水方向と交差する方向に拡張した面が設置されることを特徴とする放水型ヘッド。

【請求項 7】

流水口を有する本体と、

本体に設置された椀状のデフレクターと、

デフレクターには多数の散水孔が環状に並設され、環状に並設された散水孔が上下複数の段に穿設されており、

デフレクター内部の上段散水孔と下段散水孔の間には穴を有する流量調整板が設置され、最上段の散水孔の上端には流量調整板と平行な方向に拡張した面が設置されていることを特徴とする放水型ヘッド。

【請求項 8】

流量調整板の穴の最小部口径は、流水口の最小部口径よりも小さい請求項 7 記載の放水型ヘッド。

【請求項 9】

散水孔とその隣の散水孔までの間隔は、散水孔の幅よりも狭い請求項 1 ~ 請求項 8 の何れか 1 項記載の放水型ヘッド。

【請求項 10】

上段散水孔の高さ寸法は下段散水孔の高さ寸法よりも短い請求項 1 ~ 請求項 9 の何れか 1 項記載の放水型ヘッド。

【請求項 11】

上段散水孔の数と下段散水孔の数が等しい請求項 1 ~ 請求項 10 の何れか 1 項記載の放水型ヘッド。

【請求項 12】

放水型ヘッドは天井が設置されない場所に設置可能である請求項 1 ~ 請求項 11 の何れか 1 項記載の放水型ヘッド。

【請求項 13】

散水孔の上端には散水孔から噴出される水が沿って流れる面を有する請求項 1 ~ 請求項 12 の何れか 1 項記載の放水型ヘッド。